

せていただいた南富良野町や、教育委員会の皆さん、引率してくださった先生方、本部町の皆さんには大変なお世話になり、ありがとうございます。

「沖縄の思い出」



金山小学校
石道 優花

私が、沖縄に行つて楽しかったことは、美ら海水族館 エマールドビーチ、ホームステイです。美ら海水族館では沖繩にいる魚をたくさん見ることができました。特に、ジンベエザメはとても大きくてびっくりしました。写真を撮るとき、カメラのフレームに



ハブショー見学

入りきらなくらい大きかったです。他にも、カラフルな魚がたくさんいました。オレンジやピンク、青などの色をした魚がいました。シマハタという魚の色が、とてもきれいでした。エマールドビーチでは、たくさん泳ぎました。沖繩の海は、北海道の海より色がうすかったです。また、海にはたくさん生物がいました。ナマコやウニ、やどかりなどがいました。ナマコは形がそれぞれ違って、おもしろかったです。泳いでいる間、海はほとんど深くなつて、満潮に近づいていました。海は深くなつていたので、あまり遠くまで行けません。うきわに乗っているときに波で流されてしまいました。沖繩の海はとてもきれいで、泳ぐのは楽しかったです。ホームステイでは、島袋涼ちゃんとたくさんお話をすることができて楽しかったです。ホームステイ引渡式をした後涼ちゃんの家がある瀬底島に行きました。涼ちゃんの家には荷物を置いて、瀬底のビーチに行きました。ビーチでは、写真を撮りました。ビーチに行つて海を見ると、牛がいたので少しびっくりしました。ビーチに行つた後、涼ちゃん

がバレーボールの練習だったので一緒に瀬底小学校体育館に行きました。15分くらいしたら心愛ちゃんが来たので、2人で一緒にバレーボールをやりました。バレーボールは思った以上にむずかしくてなかなか上手にやることができなませんでした。涼ちゃんの家にもどると晩ごはんを食べました。晩ごはんは、タコライス、沖縄そばなどでした。とてもおいしかったです。私は、ホームステイでいい思い出ができました。沖縄に行つて、様々な体験をして楽しかったです。私が沖縄に行つて勉強になったことは、沖縄戦について学んだことです。沖縄戦について学んで、たくさんの方が亡くなったこと、沖縄の戦争で実際におこったことがわかりました。また、この中の様子や戦後、アメリカに支配されていたときの様子もわかりました。私は、沖縄戦について勉強をして、世界中が平和になつたらいいなと思います。



ハブショー見学

はちよつと違った感じがしました。ほかに、カニやヤドカリなどがいました。生まれだての力二だつたので白くて透明でした。脱皮の途中の殻の無いヤドカリも見ることができました。沖繩の海には、たくさん魚や生き物がいて楽しかったです。海の波は、思ったよりも音が大きくて、たたきつけているようでした。それに波はとても強くて、波の勢いの強さは、僕も流されるほど強かったです。海の中に入ると、とても温かったです。学校のプールより温かくて、いつまでも入つていられそうなくらいでした。海の水はとてもしょっぱくて、口を開けていると波がきて、口にもたくさん入つてとてもしょっぱく、のどが痛くなりました。鼻と口に入つて痛かったです。僕は海に入っていると、塩につかっているみたいでした。それに帰りには、夕陽が見れてよかったです。夕陽はすぐ消えてしまったけど、とてもきれいで、感動しました。

感動しました。ぜひもう一度行きたいです。僕は、本部町親善交流事業を通して沖繩の暑さや海水浴を体験し、北海道との違いを感じました。また戦争の規模の大きさがわかって戦争のことについてもっと、調べたいと思います。

「心に残った美しい美ら海水族館」



下金山小学校
及川なほ

私が沖縄県本部町親善交流事業で、一番心に残ったことは、美ら海水族館でたくさん魚を見たことです。見たことのない、魚や初めて見るジンベエザメが印象に残りました。美ら海では、一度も見ることがないジンベエザメを見ることができてとてもうれしかったです。思っていたより、すごく大きくてびっくりしました。美ら海水族館に入つたとたん大きな水そうがあり、そこにはたくさん魚がいて、まるで海のようにでした。魚たちが気持ちよく泳いでいたので、私も一緒に泳ぎたかったです。もう少し奥の方へ行くとサメの肌が見られるところがあって、サメの肌



本部小児童と名刺交換

さわらつと思つたけど、怖くて直ぐにはさわれませんでした。でも一回さわると、くせになつてとても気持ちよかったです。つるつるしている肌もあれば、ザラザラしている肌もありました。全部の肌をさわつたけど、私は一番つるつるしているサメの肌が気持ちよかったです。

そしてついに、一番大きな水そうの中にあるジンベエザメを見に行きました。学校の中で、体長14メートルのジンベエザメが泳いでいるのを見ては私は「何じゃ！こりゃっ」と思いました。ジンベエザメは、顔はかわいいけど、泳ぐのが速いので、すごいなあと思いました。そして

美ら海には、色あざやかな魚ばかりいて私は、何回でも見れるなあと思いました。顔が不思議な魚やかわいい魚がたくさんいました。私は、美ら海水族館へ行つて、見たことのない大きな水そうや、見たことのない魚にびっくりしました。他の水族館には、いない魚や生き物が見れて、すごくうれしかったです。美ら海水族館で、とてもたくさん生き物のことを知れたし、たくさん体験もできたのでよかったです。少しづつ、魚のことや生き物のことがわかってきて、うれしかったです。これからも、色々な種類の魚や、たくさん生き物を調べていきたいです。真夏の沖縄を体験し、予想をはるかにこえる暑さを実感しました。また美ら海水族館の魚の種類や規模の大きさにあらためて北海道との違いを感じました。沖縄の自然環境や文化、平和についてもたくさん学べたので、この交流事業に参加できて、よかったです。

「感動した沖縄の海」



下金山小学校
渋谷 昌樹

沖縄県本部町親善交流事業で、一番思い出に残っていることは、沖縄の海に行つたことです。理由は、初めての海は想像以上に広く色がきれいで、感動したからです。

海の色はすき通つた緑で、サンゴは白で、海とサンゴの色があつてとてもきれいでした。海には、とても多くの魚がいて、びっくりしました。魚は白色で半透明で10センチメートルくらいでかわいかったです。ほかに、これだてのナマコやウニもさわつて、修学旅行でさわつた時と



本部町の小学6年生と交流を深めました